

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/11/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 中国の需要不安で一時80ドル割れ

NY原油先物相場は、1バレル=80ドル水準まで急落した。中国で新型コロナウイルスの感染被害が拡大していることが嫌気され、一時80ドル割れの急落地合になっている。また、米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げ長期化観測が蒸し返されていることも嫌気されている。77.24ドルまで下値を切り下げ、9月28日以来の安値を更新している。

改めて中国の需要リスクが中心テーマになっている。中国では新型コロナウイルスの1日当たりの新規感染者数が2万人台まで急増しており、行動規制の強化が石油需要環境を悪化させるのは避けられないとみられている。中国政府はゼロコロナ政策に基づく行動規制を緩和する方向で動いており、従来程には大きな需要ショックは発生しづらくなっている。広東省広州市ではロックダウンに対する不満から暴動が発生するなど、市民の不満が高まっているためだ。しかし、現実問題として大規模検査と隔離措置以外には対応策が見当たらないため、中国の石油需要が下振れするリスクが強く警戒された。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（11月11日時点）は、原油が前週比540万バレル減、ガソリンが221万バレル増、石油精製品が112万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

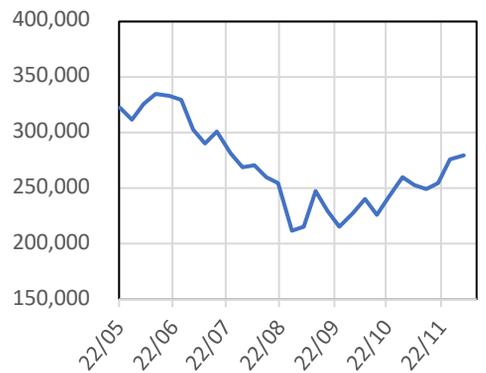
## 中国需要リスクの消化、コロナ感染状況に一喜一憂

改めて中国の需要リスクにマーケットの関心はシフトしている。中国では突然に新型コロナウイルスの新規感染者数が急増しており、このまま更に感染者が増え続け、大規模な行動規制の導入が報告されると、原油相場は80ドル割れの時間が増えることになる。ただ、あくまでも感染状況次第の展開になるため、感染拡大の「波」が終息に向かうと一気に地合を引き締める可能性を抱えている。毎日の感染者数のデータを見ながらの展開が続き易い。

一方、2週間前の11月7日には93.74ドルまで急伸していた相場であり、供給不安も根強い。11月15日に国際エネルギー機関（IEA）が発表した月報では、石油市場は「前例ない不確実性」を抱えた状態にあるとの警告が発せられている。11月から石油輸出国機構（OPEC）プラスの減産が始まったが、12月5日には更に欧州連合（EU）のロシア産石油禁輸、そして主要7カ国（G7）などのロシア産石油価格の上限設定が予定されている。これら一連の動きがどの程度の供給制約を発生させるのかは、先行きの予想が困難な状態にある。IEAは特にディーゼル油需給に混乱が生じるリスクを指摘している。

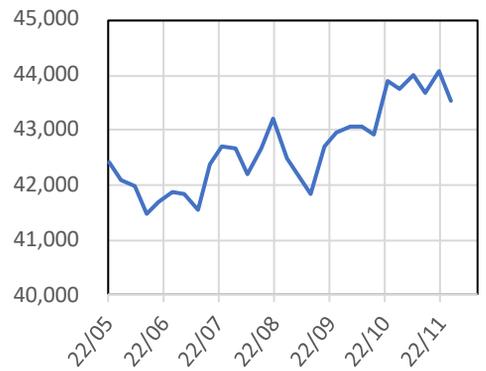
需要不安と供給不安のどちらを重視するのが焦点になるため、強弱材料交錯から不安定な地合が続き易い。まずは需要不安の織り込みを前提に、中国の需要リスクを更に高めるような動きの有無を見極める展開になる。一方、年初来安値が近付いていることで、下げ過ぎ感や値ごろ感の買い圧力がみられるのかにも注目したい。80ドル割れで値ごろ感が意識されると修正高になり易い。ただ、本格的な上昇トレンド形成には、中国の新型コロナウイルスの感染被害が終息に向かい始めるか、需要不安を相殺するような供給不安が要求される。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



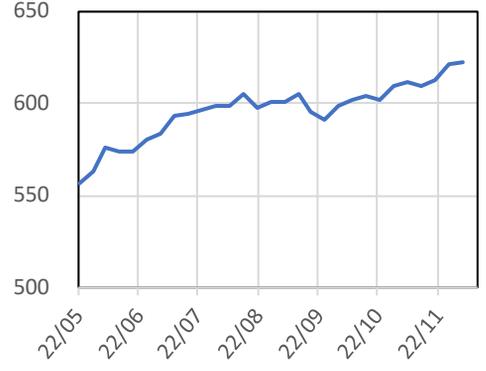
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

